



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月12日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 2021年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	38,348	△3.2	1,456	17.4	1,446	19.7	1,004	107.8
2020年8月期第3四半期	39,610	2.6	1,239	123.6	1,208	131.5	483	183.1

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 991百万円 (123.3%) 2020年8月期第3四半期 443百万円 (506.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	74.96	—
2020年8月期第3四半期	36.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	21,755	11,270	51.8
2020年8月期	21,544	10,481	48.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 11,270百万円 2020年8月期 10,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年8月期	—	0.00	—		
2021年8月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,960	△3.5	1,850	4.6	1,780	2.8	1,150	48.5	85.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	13,958,800株	2020年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	560,874株	2020年8月期	560,874株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	13,397,926株	2020年8月期3Q	13,397,926株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2021年8月期3Q 60,000株、2020年8月期 60,000株)が含まれております。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年8月期3Q 60,000株、2020年8月期3Q 60,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第4波到来と新たな複数の変異株による感染の拡がりにより、4月以降合わせて19都道府県に発出された「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が数度に亘り延長され、未だに収束の時期は見通せない状況が継続しました。一方で、ワクチン接種のスピード感がここに来てようやく高まってきたとのポジティブな面も出て来つつあります。国内経済はポストコロナを見据えた好調な設備投資に支えられた企業物価指数と、価格転嫁が進まず上げ足の遅い消費者物価指数との間で、K字と言われる二極化が顕在化しており、消費者のデフレイマインドの払拭にはまだ時間がかかりそうな状況です。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts (ワッツ)」「Watts with (ワッツ ウィズ)」「meets. (ミーツ)」「silk (シルク)」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけでなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、引き続き100円以外の価格帯(200円~1,000円)の商品導入を進めており、委託販売型店舗での取扱いについても積極的に拡大しております。また、当社100円ショップ内に、「Buona Vita (ブォーナ・ビータ)」のコーナーを設けた店舗を展開する等、グループ事業間でのシナジー強化に取り組んでおります。

出店状況につきましては、通期計画の144店舗に対して123店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が33店舗(うちFC2店舗)あり、当第3四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,307店舗(92店舗純増)、FCその他が23店舗(2店舗減)の計1,330店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、775店舗(136店舗純増)と全体の58.3%となりました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita」は当社100円ショップへの委託販売型を中心に4店舗出店した一方、不採算店を5店舗退店したことで20店舗(1店舗純減)となりました。店舗の特性に合わせた商品構成の見直しやLINE公式アカウントを活用した販売促進活動等に取り組んでおります。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗(増減なし)、ディスカウントショップ「リアル」は6店舗(増減なし)となっております。また、新業態として、時間をテーマにしたおうち雑貨店「Tokino:ne (ときのね)」の1号店を神戸市にオープンいたしました。

なお、デンマークのライフスタイル雑貨店「Sostrene Grene (ソストレーネ・グレーネ)」は、3月をもって全店舗営業を終了し事業撤退いたしました。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA (こものや)」は、タイで45店舗(5店舗減)、マレーシアで2店舗(増減なし)、ベトナムで4店舗(1店舗減)、ペルーで19店舗(1店舗減)となりました。中国での均一ショップ「小物家園 (こものかえん)」は、6店舗(増減なし)となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は76店舗(7店舗減)となりました。

前期に中国現地法人を譲渡したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外事業及び「Buona Vita」の売上高は減少いたしました。また、国内100円ショップ事業につきましても、前期の衛生用品や巣ごもり消費関連商品の需要増に対する反動を受けたことで、売上高は減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,348百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

一方で、不採算事業の整理が進んだことに加え、出店・改装に係る費用が抑えられたこと等により、営業利益は1,456百万円(同17.4%増)、経常利益は1,446百万円(同19.7%増)となりました。

また、当社連結子会社である㈱ヒルマー・ジャパンの事業撤退にあたり、共同出資会社からの借入金の免除等を受けたことで債務免除益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,004百万円(同107.8%増)となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少いたしました。これは、商品及び製品が395百万円増加した一方、現金及び預金が317百万円、受取手形及び売掛金が105百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は5,422百万円となり、前連結会計年度末に比べて294百万円増加いたしました。これは、基幹システム刷新に伴うソフトウェアの増加を主因として、無形固定資産のその他が395百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、21,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ210百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ726百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が362百万円、電子記録債務が362百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は1,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円増加いたしました。これは、資産除去債務が213百万円増加した一方、長期借入金が87百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、10,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ578百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が802百万円増加したことによるものであります。その結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は48.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,591,348	6,273,836
受取手形及び売掛金	2,340,081	2,234,756
商品及び製品	7,114,726	7,509,867
原材料及び貯蔵品	15,339	21,801
未収消費税等	57,652	93,770
その他	320,877	221,192
貸倒引当金	△23,849	△22,750
流動資産合計	16,416,177	16,332,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,021,501	2,113,332
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,290,640	△1,282,070
建物及び構築物 (純額)	730,860	831,261
車両運搬具	19,860	24,867
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,252	△15,197
車両運搬具 (純額)	5,607	9,669
工具、器具及び備品	3,637,146	3,704,128
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,049,711	△3,150,610
工具、器具及び備品 (純額)	587,435	553,517
土地	257,800	257,800
リース資産	27,623	27,623
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,879	△24,245
リース資産 (純額)	7,744	3,378
建設仮勘定	19,162	—
有形固定資産合計	1,608,611	1,655,627
無形固定資産		
その他	227,932	623,109
無形固定資産合計	227,932	623,109
投資その他の資産		
投資有価証券	436,438	397,345
繰延税金資産	406,098	342,994
差入保証金	2,316,365	2,283,861
その他	143,227	130,180
貸倒引当金	△10,166	△10,158
投資その他の資産合計	3,291,964	3,144,223
固定資産合計	5,128,507	5,422,961
資産合計	21,544,684	21,755,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,479,165	3,116,293
電子記録債務	3,686,438	3,324,206
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	684,324	569,902
未払法人税等	169,097	353,003
未払消費税等	399,903	127,659
事業整理損失引当金	75,596	—
賞与引当金	203,687	26,727
役員賞与引当金	17,900	—
その他	945,519	1,217,116
流動負債合計	9,661,633	8,934,907
固定負債		
長期借入金	569,688	481,963
退職給付に係る負債	297,928	310,893
役員退職慰労引当金	27,772	29,795
役員株式給付引当金	65,245	90,562
資産除去債務	192,735	406,221
その他	247,987	230,175
固定負債合計	1,401,358	1,549,612
負債合計	11,062,992	10,484,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,354,136	1,354,136
利益剰余金	8,965,680	9,768,159
自己株式	△273,120	△273,120
株主資本合計	10,486,994	11,289,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,857	11,578
為替換算調整勘定	△21,158	△30,136
その他の包括利益累計額合計	△5,301	△18,557
純資産合計	10,481,692	11,270,915
負債純資産合計	21,544,684	21,755,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	39,610,390	38,348,077
売上原価	24,538,122	23,573,629
売上総利益	15,072,267	14,774,448
販売費及び一般管理費	13,832,376	13,318,287
営業利益	1,239,891	1,456,161
営業外収益		
受取利息	6,028	1,122
為替差益	—	26,895
受取ロイヤリティー	4,554	2,964
受取補償金	24,697	3,439
補助金収入	10,159	2,627
その他	14,410	6,238
営業外収益合計	59,850	43,287
営業外費用		
支払利息	5,513	3,497
退店違約金	43,154	1,320
持分法による投資損失	28,914	26,377
為替差損	7,037	—
支払補償費	—	17,066
その他	6,825	5,038
営業外費用合計	91,445	53,299
経常利益	1,208,296	1,446,149
特別利益		
保険解約返戻金	1,260	5,067
投資有価証券売却益	—	5,755
固定資産売却益	362	232
受取保険金	25,138	8,532
債務免除益	—	291,302
特別利益合計	26,761	310,891
特別損失		
固定資産除却損	3,234	1,651
減損損失	104,147	181,778
事業整理損	296,732	—
災害による損失	24,528	—
特別損失合計	428,642	183,430
税金等調整前四半期純利益	806,415	1,573,610
法人税、住民税及び事業税	352,286	506,363
法人税等調整額	△29,278	62,899
法人税等合計	323,008	569,262
四半期純利益	483,406	1,004,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,406	1,004,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	483,406	1,004,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,352	△4,278
為替換算調整勘定	△28,624	△12,073
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,296	3,095
その他の包括利益合計	△39,569	△13,256
四半期包括利益	443,837	991,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,837	991,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。当該変更による増加額220,100千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部については減損損失として処理をしており、当該見積りの変更の結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は75,919千円減少しております。

(重要な後発事象)

株式取得に関する基本合意

当社は、2021年7月12日開催の取締役会において、株式会社音通（東証第二部：7647、以下、「音通」という。）の連結子会社である株式会社音通エフ・リテール（以下、「音通エフ・リテール」という。）及び株式会社ニッパン（以下、「ニッパン」という。）の全株式を取得することに向けて、基本合意書を締結することを決議し、同日付で音通と基本合意書を締結いたしました。

① 基本合意書締結の理由

音通エフ・リテールは、関西、関東地域を中心に「FLET'S」及び「百圓領事館」等の屋号で100円ショップを約140店舗運営しており、ニッパンは、100円ショップ向け商材の卸売りを行っております。

当社基幹事業である国内100円ショップ事業の店舗網及び事業規模の拡大を図ることで、当社企業価値の向上に資するものと考え、本件株式取得へ向けた基本合意書を締結するものであります。

② 株式を取得する対象会社の概要

名称	株式会社音通エフ・リテール	株式会社ニッパン
事業の内容	100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」等の運営及びフランチャイズチェーン店舗の運営	100円ショップ向け雑貨商品の企画・輸入・販売

③ 日程

基本合意書締結日	2021年7月12日
株式譲渡契約締結日	2021年8月下旬（予定）
株式譲渡実行日	2021年10月1日（予定）